第4回 あきる野市総合計画審議会 議事録

日 時：令和2年2月14日（金） 午後3時30分～5時00分

場 所：あきる野市役所5階503会議室

出席者：会長 菊地 俊夫 副会長 横倉 三郎
 委員 甲野 富和 委員 網代 和夫
 委員 大久保 春彦 委員 坂本 勇
 委員 安永 勝昭 委員 松村 博文
 委員 立花 晋也 委員 倉田 克治
 委員 野島 健也 委員 吉田 榮久夫
 委員 櫛 敏男 委員 多田 恵子
 委員 青木 旦治 委員 吉田 正幸
 委員 松野 利美（代理：吉田）

（欠席者：田野倉美保委員、齋藤孝委員、影山守彦委員、伊東満子委員、近藤怜美委員、下村智委員、町田修二委員）

1 開会

（事務局）

本日の会議については、田野倉委員、齋藤委員、影山委員、伊東委員、近藤委員、下村委員、町田委員から欠席の連絡をいただいている。また、東京都行政部の松野委員の代理として吉田様が参加する。

2 会長挨拶

（会長）

忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。4回目の審議会を迎え、計画も形が見えるようになってきた。限られた時間ではあるが、よりよい計画とするべく、ご協力を賜りたい。

3 議事等

（1）傍聴希望について

（委員）

本日は傍聴の希望があるので許可したいと思うがどうか。

（一同異議なし）

（2）あきる野市総合計画基本構想(素案)について

【事務局から、資料1・2を用いて、基本構想たたき台に対する意見への対応及び基本構想(素案)について説明した。】

（委員）

資料1・2について、後で議論をする、将来都市像の部分を除いて何かご意見はあるか。

(委員)

資料2の9ページ、産業別就業人口の表について、経済規模の分布はどうなっているのか。

(事務局)

あきる野市総合計画基礎調査報告書において、工業や商業について、売上や従業者の規模を示している。

(委員)

就業人口の比率に対する経済規模を知ることはできるのか。

(事務局)

例えば製造業であれば、平成28年は440億円の製造品出荷額等となっている。

(委員)

就業人口比に対するあきる野市の経済規模、割合が知りたいということではないか。

(事務局)

割合が示せるかは検討したい。

(委員)

資料2の4ページ、あきる野市公共施設等総合管理計画について記述があるが、中身を教えてください。

(事務局)

ご質問のあったあきる野市公共施設等総合管理計画に加え、個別施設計画を現在策定中であり、進行中の出来事として表現を精査したい。

(委員)

立川断層帯地震の表記について、住んでいる実感としてはこれまで地震による揺れをあまり感じたことがなく、一つの強みとして捉えることもできるのではないかと認識しているのか。

(事務局)

地震や台風等、自然災害への対応や対策は、継続的に取り組まなければならないと認識している。

(委員)

立川断層帯地震自体はまだ確定的ではない部分があるので、削除の方が望ましいのではないかと。資料1を見ると、あきる野らしさについての指摘がかなり多い印象を受けるが、緑の多さや産業構造等について、比較を踏まえてあきる野市の良さを示すとよいのではないかと。また、資料2の4ページにあるテーマとは、第一次計画で設定されたテーマという認識でよいか。

(事務局)

後期基本計画において、重点テーマとして設定しており、全体的な進捗状況を示すくり方として用いている。個別分野の進捗状況については基本計画等で示したいと考えている。

(委員)

このテーマと第二次計画で掲げる基本理念を照らし合わせると、基本理念1が新たに追加されているように見受けられるが、ワークショップ等を通じて把握した市民の意向を把握しているということか。

(事務局)

ワークショップやアンケート等で自然や緑に対する意見が多かったことを意識している。

(委員)

基本理念は極めて重要である。ご意見があればお伺いしたい。

(委員)

将来都市像は3つ、基本理念が4つあるが、関連性が分かりにくい。将来都市像に「人を育む」という表現はあるが、基本理念のどこに結びついているのか整理をしてほしい。

(委員)

将来都市像についてもご意見が出てきたので、資料3もあわせて説明をいただきたい。

【事務局から、資料2・3を用いて、基本構想（素案）のうち、特に将来都市像について説明した。】

(委員)

審議会委員より将来都市像についてご提案があると伺っているので、ご意見を拝聴したい。

(委員)

たたき台の時点の案をベースに現行計画の基本構想の要素を盛り込みつつ、全体を包括してまとめた案として「豊かな自然や人とまち 文化を育む あきる野」を考えてみた。たたき台の案にあった「安心安全なまち」については、「豊かな自然や人とまち」の中に溶け込ませている。安心安全だからこそ豊かさが感じられるという理解である。

(委員)

市民目線の意見、実感が込められているかが極めて重要であるが、只今の提案に加え、素案に示されている案も含めて、ご意見はいかがか。

(委員)

言葉だけが浮かないようにすることが大切だと思っている。ぱっとイメージしやすい言葉、人によってイメージがぶれないようにすることが大事ではないか。現在の素案はイメージがしやすくてよいのではないか。

(委員)

抽象性をそぎ落とし、誰が見てもわかるようにすることが重要であり、現在の案は即しているのではないか。

(委員)

全世代型社会保障に象徴されるように、すべての世代に関わるというニュアンスが含まれていてよいのではないか。地方創生の流れを受けて、まち・ひと・しごとに関連する内容も反映されているのではないか。

(委員)

将来都市像と基本理念のリンクについてはどうか。

(委員)

基本理念の記述を厚くしていただければ、つながり自体はよいと思われる。

(委員)

秋川市の時代は「スポーツ」「音楽」を掲げており、活動自体は停滞気味な部分もあるが、「ス

ポーツ」について触れることも望ましいのではないか。

(事務局)

基本計画における施策や事業とのバランスで考えることが必要であると整理している。施策のボリュームという視点から見ると、スポーツを強調させるか、判断に悩む状況である。

(委員)

「文化」というフレーズの中で読み込むこともできるのではないか。

(委員)

移住という視点から見て、「住んでみたい」「訪れてみたい」と思わせるキャッチフレーズがあるとよいのではないか。

(委員)

今住んでいる子ども、中学生が一度市外へ出ても、またあきる野市に住みたいと思ってもらえるという視点を持つことも重要ではないか。

(委員)

文化、という話題が出たので、あきる野市文化団体連盟の立場から現状を共有したい。昨年の市民文化祭には107団体が参加したが、今後の継続性という視点に立つと、多くの団体は高齢化が進んでおり、課題を抱えている。連盟に加入する団体の要件も構成員10名以上となっているが、10名を割り込みそうな団体も多い。文化が取り残されないように心がけていただきたい。

(委員)

町内会・自治会の加入率が低下しており、文化と同様に高齢化の進展は大きな課題である。若い世代の流入も非常に重要である。もっとコンパクトなキャッチフレーズの方がよいのではないか。資料3の予備案1がよいのではないか。

(委員)

第一次計画における取組の概要では、道路整備が進んでいるとあるが、まだまだ狭くて危ない道路も多い。計画策定も重要であるが、策定した内容や理念が職員に共有されることが望ましい。

(事務局)

移住というテーマは重要であり、あきる野市の魅力について、将来都市像の「豊かな自然と人々の絆に包まれ」の説明において、本市の魅力等を記載している。移住・定住にはいくつもの要素が絡むが、交通利便性を含めた、住む上での「安全・安心」を進めていくことが重要であると認識している。職員への共有については、策定過程において職員ワークショップを実施し、策定後は庁内周知を図っていきたいと考えている。道路整備については毎年整備を進めているが、安全・安心、防災という視点から引き続き取り組みたいと考えている。

(委員)

あきる野市は自然に恵まれている一方、交通利便性が悪いということが一般的に言われている。しかし、子育て世代にとって、都心と比べれば庭が広く、放課後教育等が充実して魅力的であれば、交通利便性が悪いということを所与として受け止め、仕事の形態を在宅に変えるなど、対応してくれるのではないか。そうした方向性を目指すべきではないか。

(委員)

将来都市像にある「豊かな自然」とは何か考えるべきである。あきる野市の誇る山林地帯の豊かさは崩れつつある。イノシシ以外の野生動物も住宅街に出没していることが証左である。

針葉樹が広葉樹に対して過大であることが大きな原因として捉えられる。豊かな自然について、計画のどこかで分類いただきたい。

(委員)

転出の抑制のためには子どもの頃から、市内で楽しい経験を積み、あきる野らしい教育を行うことが重要ではないか。転入の増加のためには、子どもを育てやすい、仕事が見つかりやすい環境が重要である。特に特色のある学校教育を展開すれば、それを理由に転入する場合も増えていることをよく聞く。基本理念でいえば4番目の理念の記述を厚くしていただきたい。

(委員)

今後の進め方については会長・副会長に一任いただき、事務局と調整の上、改めて将来都市像や基本理念をお示ししたい。基本理念は4つを基本線として、記述を厚くしたい。まちづくりの方向性についても、将来都市像や基本理念との整合を図りつつ、詰めていきたい。

(2) その他

(事務局)

今後の予定について、本日の意見を踏まえた基本構想の修正を行いながら、本日イメージとして提示した第4章（まちづくりの方向性）は各課のヒアリングを通じて書き込みを進める。

その後、3月13日の庁内組織、総合計画策定本部にかけ、3月18日、令和2年第1回定例会3月定例会の議員全員協議会に報告し、議会の意見をいただく。

来年度、4月以降の予定については、9月にパブリックコメントを実施し、12月議会に完成形を上程したいと考えている。

第5回審議会については、市民ワークショップの開催等の都合により、4月下旬から5月上旬にかけて開催したいと考えている。今後、会長・副会長と調整の上、改めて通知する。

4 閉会

(副会長)

短時間で活発な意見交換、ありがとうございました。引き続きよろしく申し上げます。活発な議論であったと思う。以上をもって、第4回あきる野市総合計画審議会を終了させていただく。